

2026年7月9日
九州電力株式会社
株式会社 neoAI

九州電力とneoAIが資本業務提携契約を締結しました — 電力業界における高度な生成AI活用のモデルケースを創出 —

九州電力株式会社（以下「九州電力」）と株式会社neoAI（以下「neoAI」）は、中長期的なAI技術の活用を通じた業務変革の推進を目的として、本日、資本業務提携契約（以下「本提携」）を締結しました。また、本提携に基づき、九州電力はneoAIの株式の一部を取得しました。

neoAIは、東京大学松尾研究室発のスタートアップ企業です。高い技術力を強みに、法人向け生成AIプラットフォーム「neoAI Chat」を展開し、企業のAI活用を支援しています。

九州電力は、生成AI技術を、電力供給に必要な設備工事を実施するための仕様書作成など電力業界特有の業務へ適用し、業務効率化を推進するため、2023年度から「neoAI Chat」を活用した部門特化型AIの開発・導入を進めてきました。

両社は、こうした取組みを踏まえ、さらなる連携強化と協働の拡大を目指し、資本業務提携を行うこととしました。

両社は、本提携を通じて、電力業界における高度な生成AI活用のモデルケース創出を目指します。また、九州電力の業務効率化・高度化を推進するとともに、その過程で得られる大規模な実装知見を活かし、電力・エネルギー業界における生成AI活用の先進事例を継続的に創出し、日本全体における生成AIの社会実装の加速にも貢献していきます。

■ 本提携による具体的な取組み内容

- ① 生成AI活用による業務変革の推進
- ② 九州電力の実証フィールドを活用した先行的な技術検証
- ③ AI-Ready^{*}なデータ基盤整備の推進
- ④ 九州電力の業界ネットワークを活用した生成AI活用モデルの共同展開

※ AI技術を最大限活用するため、AIにとって理解しやすいデータに整理すること



（左）九州電力株式会社 執行役員 本田 健一 （右）株式会社 neoAI 代表取締役 CEO 千葉 駿介

以上